

◇本号では、東京大学大学院の鈴木道生先生が「分析化学の守備範囲？」と題しリーエッセイをご寄稿されており、とびらでは関東支部長の津越敬寿先生が会員構成について語られております。どちらからもわかるように、分析化学とは大変広い領域であり、日本分析化学会には幅広い分野の方々が在籍されております。このように様々な専門領域の方々が一同に会す日本分析化学会は、大変多様性に富んだ組織であると言えることができ、これは日本分析化学会の強みの一つだと思います。

◇私事ですが、この2月をもって任期満了につき編集委員を退任します。多様性に富んだ原稿や編集委員の皆様と触れ合うことができ、大変勉強になった3年間でした。編集委員としての任務はCOVID-19の流行と共に始まったため、すべての編集委員会がWEBで開催されましたが、勝田編集委員長を始め、編集委員の皆様、事務局の皆様、また、ご執筆いただきました先生方には大変お世話になりました。至らぬ点がありご迷惑も多々お掛けいたしました。皆様のお陰で何とか3年間務めることが出来ました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

[K. S.]

〈とびら〉

世界ランキングに思う……………渡慶次 学

〈入門講座〉 分離技術：原理から最新技術まで

膜分離……………赤松 憲樹

〈解 説〉

NMRによる正しい構造解析に必要な

知識と心掛け……………越野 広雪

〈ミニファイル〉 マイクロ・ナノの分析化学

表面加工（マイクロ・ナノ構造形成）……………梅村 知也

〈話 題〉

技能試験に使用する統計的方法……………鈴木 知道

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 勝田正一 (千葉大院理)	東海林 敦 (東京薬科大薬)	菅 寿美 (海洋研究開発機構)
〈副委員長〉 菅沼こと (帝人 株)	村居景太 (株共立理化学研究所)	
〈理事〉 津越敬寿 (産業技術総合研究所)	稲川有徳 (宇都宮大院地域創生科学)	岩井貴弘 (株日立製作所)
〈幹事〉 坂牧寛 (化学物質評価研究機構)	齊藤和憲 (日本大学生産工)	高橋あかね (オルガノ 株)
富岡賢一 (三菱マテリアル株)	谷合哲行 (千葉工業大先進工)	照井教文 (一関高専)
〈委員〉 市場有子 (ライオン 株)	中原佳夫 (和歌山大システム工)	野間誠司 (佐賀大農)
岡村浩之 (日本原子力研究開発機構)	堀田弘樹 (神戸大院海事科学)	松神秀徳 (国立環境研究所)
田中佑樹 (千葉大院薬)	宮下振一 (産業技術総合研究所)	森 勝伸 (高知大理工)
永谷広久 (金沢大院自然科学)	山崎由貴 (国立医薬品食品衛生研)	
福島健 (東邦大薬)		
三浦篤志 (北大院理)		
森山孝男 (株リガク)		

☑ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会（学著協）に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX：03-3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾（著作物の転載願い等）は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2023年 第2号（通巻578）

2023年2月1日印刷

2023年2月5日発行

定価1,000円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会

電話 総務・会員・会計： 03-3490-3351

編集： 03-3490-3537

FAX：03-3490-3572

振替口座：00110-8-180512

© 2023, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。